

品川区議会議員 区政報告

日本共産党



おくの晋治

区議控室：〒140-8715 品川区広町2-1-36 Tel：03-5742-6818 Fax：03-3778-3088

区政報告について、ご意見、ご要望をお寄せ下さい。
ホームページ：<http://www.jcp-shinagawa.com/>

加齢性難聴者への 「補聴器購入費助成」 品川区でもついに実現へ 長年の署名運動と議会論戦が区政を動かす



区が「検討」を表明

6月末より開催された区議会第2回定例会において、品川区は高齢者の補聴器購入助成について「実施に向けて取り組んでまいります」と表明。初めての答弁です。

共産党は高齢者の「耳の聞こえ支援」を進めるため、高額な補聴器への購入費補助や早期発見、早期装着への支援を提案。

当初、品川区は「購入

費補助の考えはない」「難聴は家族が気づくので検査は必要ない」とくりかえし説明。これに対し共産党は「耳の聞こえが悪くなると、社会との交流が減り孤独になる方も多い。専門家は認知症への影響も指摘している」「早期発見のための検査は重要」など論戦し、粘り強く提案してきました。

おくの晋治プロフィール：1956年愛媛県松山市生まれ。愛光学園中学・高校、東京大学法学部卒。塾講師・家庭教師、品川区議団事務局を経て、2018年9月初当選。現在2期目。西五反田在住。趣味は映画・演劇鑑賞。山田洋次が大好き。

23区でも16区へと購入

共産党は「早期実施が

反対しました。

助成が広がる中、今回ついに品川区が購入費助成を表明したことは画期的な前進です。

助成額が2〜3万円の自治体も多い中、今年4月から助成を始めた港区では13万7000円。住民税課税の人はその2分の1の6万8500円で

必要」とすべてに賛成。しかし自公らはすべてに反対しました。たとえば、2021年9月の厚生委員会では、自民区議は「補助制度を創設する」という結論には至っていない」。2022年2月には自民区議は「補聴器の必要性は十分理解している」、公明区議は「様々な政策を検討して欲しい」と述べながら、署名にはなぜか反対しました。

反対しました。区民の願いに背を向けるこうした姿勢は厳しくただされるべきです。引き続き、聞こえの支援の早期実現へ力を尽くします。

区政を動かした力

実施を拒んでいた品川区を変えさせた力は、区民の声、共産党の論戦、署名運動です。住民の強い願いと粘り強い運動が大きな力となりました。

いつから、どのような支援を始めるのか、引き続き高齢者の聞こえの支援について早期実施を求めていきたいと思えます。

今回の厚生委員会でも、自民区議は「区より助成実施との答弁がある。主張の繰り返しや批判では一歩も進まない」と述べ、

実施時期、助成内容等は今後の検討

補聴器購入費助成について、共産党は6月末の厚生委員会にて実施時期や助成額、聴覚検査の実施、調整などのサポートなどを質問。品川区はいずれも「今後検討してい

自公は最後まで反対

これまで品川区議会には8回もの補聴器購入費補助を求める署名が提出されました。

無料 生活・法律相談

(日時)

8月5日(金)

午後6時〜8時

(場所)

おくの晋治事務所
(小山2-16-1)

(電話)

おくの晋治事務所
03-3787-5425

土田
090-4091-9174

あらかじめ電話などでの予約をお願いします。

都心・品川低空飛行の羽田新ルート計画は撤回を

日本共産党